

第31回うらじゃ 第3回踊り連代表者報告会 次第

日時：2026年9月18日（金）

時間：19:00～20:30

場所：市役所本庁舎7階会議室

1. 開会
2. 資料の確認（SDGs 推奨の為、電子配信とさせていただきます。必要であれば印刷してご持参下さい。）
資料1 第31回うらじゃ 踊り連アンケート結果
資料2 第31回うらじゃ 実行委員会改善シート
資料3 うらじゃ振興会会員募集について
3. 第31回うらじゃ実行委員長挨拶 高見実行委員長
4. 報告事項 総務部会
 - (1) 第31回うらじゃ 表彰式 総務部会
 - (2) 第31回うらじゃ 踊り連アンケート結果について 各部会
 - (3) 第31回うらじゃ 各部会の報告及び改善シートについて
 - (4) その他
5. 質疑応答
6. うらじゃ振興会より うらじゃ振興会
7. 岡山市 産業観光局 観光部 観光振興課 課長挨拶 新居田 課長
8. 閉会挨拶 綾部副実行委員長
9. 閉会

第 31 回うらじゃ 踊り連アンケート集計結果サマリー

《回答連数（24/82）》

◇質問項目

質問 1. 「うらじゃ」への参加にあたり、踊り連の中でどんな目標がありましたか。そして、その目標は達成されましたか。

質問 2. 練習場所でトラブルなどはありませんでしたか。あった場合には、詳細を教えてください。（場所と時間とトラブルの内容など）

質問 3. 本祭を楽しむために、どのような工夫をされましたか。そして、次年度はどのような工夫をされる予定ですか。

質問 4. 「うらじゃ」は今後、どうなると良いと思いますか。また、踊り連としてできることはどんなことだと思いますか。

質問 5. 「うらじゃ」を盛り上げるためには、踊り連の間での交流も大切にして欲しいと考えますが、今年度の「うらじゃ」で、新たに交流が始まった連はありますか。あった場合には、どういうきっかけですか。

・ 回答欄（会場名と理由や感想を記載してください）

①良かった点

②気になった点

③改善策

④踊り連としてできること

⑤次年度の参加は

質問 6.事務局からの情報発信について気になった点があればご記入ください。

質問 7. 審査について、ご回答ください。

・ あなたの踊り連は賞を目指していますか？

① 誉・匠をはっきりと目標に、受賞を目指して練習している。

② 誉・匠は遠い目標で、演舞場賞などを目指して練習している。

③ 祭りを楽しむことが目的なので、特に賞を取ることは目指していない。

・ 現在の審査は、うらじゃ連を対象としています。それについてどう思いますか。

- ① 全踊り連を対象に受賞連を決める現在のやり方がよいと思う。
- ② 大人の連、親子連、子ども連などのカテゴリーに分けて、それぞれを対象にした賞を出す方が、励みになってよい。
- ③ 自分たちの連にとっては、全体の賞は必要ないので、審査して欲しい連 を対象にエントリー方式の審査をしたらよい。
 - ・ 本年の審査は、まつり全体で行いました。それについて、どう思いますか？
- ① 祭り全体を通して審査する方式がよい。
- ② 審査の過程がよく分かるので審査会場を決めて明快に審査する方がよい。
- ③ いつも審査されていると思うとお祭りを楽しめないなので、審査の会場や時間を絞って行ってほしい。

◇回答結果（サマリー）

質問 1. 「うらじゃ」への参加にあたり、踊り連の中でどんな目標がありましたか。そして、その目標は達成されましたか。

Q1 目標達成状況	
選択肢	件数
選択肢 達成した	20
選択肢 一部達成した	2
選択肢 未達成	2

Q1 目標
・メンバー全員が安全に楽しく踊り終えること。・うらじゃをもっと好きになってもらうこと。・（代表者としては）賞も少し狙っていた。。
最後の市役所筋パレードは、全員で踊りきること。
全員で最後まで踊りきる
全員が無事に本祭を迎え、最後まで全力で楽しむ
楽しい思い出づくり、達成感を得る
誰も熱中症で倒れない、みんなで踊り切る。灯歌を知ってもらう。
岡山を地域の方々とともに盛り上げ、地域価値向上に直接貢献する。

内向き:うらじゃ博士になる(うらじゃについてよく知る) 外向き:うらじゃのことやチームのことを覚えてもらう

2年ぶりの参加だった為、みんなで2日間無事に踊り切ることを目標にしていました。初参加の子もいたので来年も参加したいと思ってもらえるようにしていました。

演舞場賞を取る

チーム結束力強化、新メンバーに踊ることの楽しさを伝える

地域の皆さまにイオンが社会貢献活動として参加している事をPR、参加メンバーが当日リタイアする事無く参加

全員で倒れる事なく全会場を踊る

総踊りをメンバー全員で無事に迎える。

何かしらの賞を受賞すること、うらじゃを通して地域のお客様に感謝の気持ちを伝えること。

明確な目標は掲げていないが、「参加して良かった、来年も参加したい」と思ってもらえる雰囲気을大事にしている。

裏方さん、観客の皆様、踊り子、多くの人と楽しむ。

みんな笑顔で元気いっぱい

観客参加型で観客が手真似や掛け声だけでも参加できるように工夫をし、「うらじゃは観客と踊り子が一緒になって」という魅力を広めていく。

皆んなが笑顔で踊ることができること

観客を巻き込んで一緒に楽しむ。

「全員主役」 一人一人が中心人物という意識を持って挑み、演舞で魅せ行動で示す。

全力を出し切って、思い切り祭りを楽しむ。

うらじゃを踊って良かった。鬼縁で踊って良かった。と思えるようにしたい。

質問 2. 練習場所でトラブルなどはありませんでしたか。あった場合には、詳細を教えてください。（場所と時間とトラブルの内容など）

Q2 練習トラブル	
選択肢	件数
選択肢 無	23
選択肢 有	1

トラブル内容

こちらは施設外での練習をしていて、施設内で空手をしている団体の代表者からメンバーへ注意が入り、管理会社にも問い合わせたところ、こちら側の主張が正しい事を確認し、呼び出して謝罪させました 屋外使用は基本自由で口論の理由も空手団体の子供たちが気になって練習に集中出来ない等の理由でしたので時間帯で子供練習の時間は視界に入らないように場所を変えて練習することとなりました。(解決済み)。

質問3. 本祭を楽しむために、どのような工夫をされましたか。そして、次年度はどのような工夫をされる予定ですか。

Q3 本年度工夫	Q3 次年度工夫
・裏方さんや他連の方とすれ違う際には大きく挨拶を交わすこと（特に自連スタッフさん裏方さんは感謝すること）を煩く言いました。。	・ハイタッチプロジェクトをもっと事前に伝達する ・総おどり曲「結」を全員が踊れるように練習する時間を作る ・他連の演舞を観る時間を作り、お互いに声を出して応援する機会を作る。
熱中症対策のため、控室で体を冷やしたり、演舞前後には必ず水分を飲むように徹底したり、しました。	本年度と同じ工夫+見られていることを意識した練習をもっとしたい、と思っています。
とにかく熱中症対策をした	夏である以上同じ
人数を補うための隊列と小道具	特にはまだです。
効率的に演舞場を回るためのスケジューリング	継続
踊る本数を詰め込まない。毎回円陣を組む&ハイタッチ。	今年同様。来年また思いつけば追加していく。

例年同様ではあるが、スタッフとして幅広い年齢層の職員と若手が関わり、全職員一丸となってうらじゃに取組み、関係性を深めることができた。	来年以降も継続していきたい。
2日間踊りきれるよう1週間前から各自で体調管理を徹底してもらう	検討中
2年ぶり、初参加のナンバーも多かったので、本祭の雰囲気を知る為に総おどりの練習をしたり、会場の下見をしたりしました。	まだ考えていません。
プラバンで連のロゴが入ったアクセサリを作ったり、連のうちわを作ったりした。	未定
キッチンカーなどお祭りの雰囲気を感じることを大事にする 積極的にハイタッチプロジェクトに参加する	特になし
小道具を使った演舞を始めて採用	うら化粧のレベルアップ
踊る時に声を出して一緒に歌う 移動時にも声を掛け合って挨拶する様にした	挨拶・ハイタッチをもっと推進したい

メンバー内で、役割分担をした。	もっと細かく分担した方が、効率的になると思いました。
踊りの中に踊り子がファンサービスできる振り付けを取り入れた。	お客様と一緒に楽しめるような振り付けを取り入れたい。
・初参加の方が今年は多かったので、親しみやすいように親睦会の場を設けたり、年齢問わずニックネームで呼び合うように心掛けた。	・大人だけでなく子供達にも制作に協力してもらったり役割を与えて全員でチームを創ることで責任や達成感を感じてもらうようにしていきたい。
うらじゃ関係者として一般の方へご迷惑をかけないよう、踊り子全員が意識して行動できるように声掛けをしました。（移動の際は1列に歩く、道を譲る、総踊りでは踊りの輪を小さくする、手に何も持たないよう声をかける、小さなお子様は保護者の目の届くところで踊るよう配慮するなど） また、踊り子やチームマネージャーの体調確認や水分補給を移動前、移動後、演舞前、演舞後で細かく行いました。	帰宅後に体調を崩す踊り子や、翌朝体調が優れない踊り子がいた為、帰宅～翌日までの身体を十分に休める、家でも水分をとる等、徹底した体調管理への呼びかけを行いたいと感じました。
踊りたい子を対象に参加しました	

「演舞、総踊りとも、観客を巻き込み一緒に楽しむのがうらじゃ」 ということをメンバーに共有し、全員で取り組んだ。	「演舞、総踊りとも、観客を巻き込み一緒に楽しむのがうらじゃ」 ということをメンバーに共有し、全員で取り組むのみ！曲構成、振付、演出全てを巻き込み優先でつくる。
・小道具を増やしたこと ・踊りの立ち位置を大きく変えたこと	踊りの難度・クオリティを上げること
衣装やメイクにこだわった。	うらじゃ音頭の練習をしておく。
うらじゃ10ヶ条を学んだり、うらじゃの起源を知ったりする機会を設けた。	他連の方と交流する機会を設けたい！
練習を真剣に取り組む。	もっと踊りを上手に踊れるようになる。
代表&副代表からメッセージ付きのキーホルダーを渡し心を1つに踊ることができた。	今の所、参加未定。

質問4. 「うらじゃ」は今後、どうなると良いと思いますか。また、踊り連としてできることはどんなことだと思いますか。

Q4 こうなると良い

Q4 踊り連としてできること

・コロナ禍前の130連位の参加、演舞場が多数ある祭りに戻り岡山を代表する祭りになること。	・（歴史が浅い）等と見るがありますが踊り連としては地道に演舞依頼の承諾、メンバー募集呼びかけを続け、時間を掛けて街に認められる祭りとなるように努力を続けること。
踊り子とお客さんがもっと楽しめるお祭りになればいい…と思います。 そのためにも、県外チームがもっと来やすいお祭りになるといいな…と思います。	うらじゃの楽しさや魅力をSNSなどで発信したりすることができるかな…と思っています。
やはり時期を考えて欲しい（できれば5月の連休）	踊り連としては別にはないけれど、開催時期に合わせる
彩鬼の配布で貰っていない人に優先して掛けて頂けると幸いです。	本年度は例年より、裏方の皆様に支えていただいた年だったと思います。 踊り連から裏方の方々にも何か賞等あれば感謝が伝わるのではないかと思います。演者の方々と裏方の方々全員でうらじゃを盛り上げる為に一つそういう取り組みもいいのではないのでしょうか。
より多くの踊り連が賞を取れるよう1つの踊り連が複数受賞しないルールづくり	代表者会議で意見を出す

夏以外の開催。うらじゃ全体の意識統一。	交通ルールやお客さん優先というところは当たり前を守る、周りを見る、 楽しくなるような盛り上げをする。
これまで同様、市民参加型の祭りとして、老若男女問わず参加しやすいイベントであってほしい。	地域の方々に親しんでいただけるよう、様々な演舞会場で、多くの演舞を披露すること。
地域の人にうらじゃのおかげでいい町になったと実感してもらえるように なると良い	本祭当日以外でもゴミ拾い、挨拶、感謝を伝えることが出来る人を育てる
もっと県内のチーム数も増えて、県外から参加してくれる連が増えたらいいと思う	県内のイベントや県外のお祭りに参加してうらじゃを知ってもらうために
県内でもまだうらじゃを見たことがない人も多いので、誰もが知っていて 親しまれるまつりになってほしい	うらじゃ以外のいろんなイベントに出たりして多くの人に観てもらおう
市民の皆様に歓迎されるお祭りになると良い	練習時から使わせてもらっているという意思をもって行動する
全国に PR 出来るようにうらじゃ原曲を Amazon ミュージックなどで配信 をするべき	イオンモール・イオンスタイルのメンバーだけでなく他のイオングループ の人のうらじゃに参加するようにしたい

受賞の理由等を明確にして欲しい	受賞は目指してないにしてもご褒美はうれしいので演舞だけでなく、色々と振興会活動等にも参加していく。
年々、猛暑のうらじゃが大変心配です。無理なく計画はしていますが、なかなか厳しいです。時期は8月末に決まっているので、難しいですね。	小さい連ですが、地域を中心に細く長く続けていきたいと思っています。
高知よさこいでもなく、どまつりでもない「うらじゃ」を作り上げる。	総踊りを県外にも普及していく。天満屋としては、取引先に踊り連を作ってもらえるようなお話をする。
より大きな祭りになっていくこと	本祭だけでなくいろんな地域のイベントなどに参加すること。
踊り連が増えて盛り上がると嬉しいです。また暑さが課題となってくるため、涼しい演舞場や日陰の多い演舞場が増えると有難いと思います。特に日差しの強い演舞場の皆様、暑い中、たくさんの日陰を用意し、冷水スポット、保冷剤やうちわの配布など様々な工夫をして温かく出迎えてくださりありがとうございました。	熱中症で緊急搬送を出さないよう、体調管理の周知、呼びかけ、一人ひとりの意識を高めるよう気を配りたいです。「熱中症が増えて危険だから、踊り子のマナーが悪いから祭りを中止にしよう」とならないよう最低限のルールが守れる参加者を増やしていきたいと思っています。
特になし	

県外からも海外からも観光客が「踊りに来る」「踊り子と交流する」ことを目的に集まるような祭りになってほしい。	「観てください」ということを主とする演舞ではなく、うらじゃらしく「交流しながら一緒に楽しくみましょう」という宴舞にしていく。
総踊りで JC の方がお客さんに撮影しないと怒鳴っていたが、ルールを周知するのはいいが、怒鳴るのは違うと思う そういう圧がある場面が多々ありました 運営してくださっていることへの感謝はありますが、だからといって横柄な態度をとることを容認することはできません	本祭時、移動時に周りの人々に明るく挨拶をすること。 そうする事で、周りの人にもその 2 日間を一年に一回その人にとって特別に感じられるようにできる。
県内外全てのチームが気軽に参加できるお祭りになればよい。	参加を続けたり、SNS で参加して楽しかったことを伝えていく。
岡山といえばうらじゃという認識へ！	うらじゃの魅力発信と地元岡山への恩返し
もっと盛り上がると良い	踊り子の人数を増やすこと。
我々のような小規模の連が、誉、匠を受賞すればより一層モチベーションが高くなると思う。	うらじゃの品格を落とさないような立ち居振る舞いをする

質問 5. 「うらじゃ」を盛り上げるためには、踊り連の間での交流も大切にして欲しいと考えますが、今年度の「うらじゃ」で、新たに交流が始まった連はありますか。あった場合には、どういうきっかけですか。

Q5 踊り連間交流

選択肢	件数
選択肢 有	7
選択肢 無	17

Q5 交流のきっかけ

- ・ 代表者が人見知りなので【無】にしてはいます。SNS 等を見ていただける機会が増えているので発信を続けて交流を図れるようにしていきたい。
- ・ 演舞場裏方スタッフさんと顔見知りが増え「今年も元気ですね」とお互いの一年間の無事を祝うことが多くなっていますが来年も会えるように努めたい。

灯歌の演舞をどこかで見てくださっており、かっこいいと言ってくさっていた。本祭でもわざわざ見に来られていた。写真撮影の声掛けもしてくださり、一緒に写真を撮れた。

同じ地域のお祭りに参加したこと

自分のチームが出ない祭りでのサポート

移動が忙しく、特定の踊り連さんと新たな交流の余裕は持てませんでしたが、昨年関わりがあった踊り連さんとはご挨拶ができました。また、演舞前後の踊り連の皆様とは拍手や声掛け、ハイタッチなどで楽しむことができました。
Tiktok コラボをしたり、オリジナルグッズを交換したりした。
ハイタッチプロジェクト
桃ロックフェス

会場意見 ①良かった点	会場意見 ②気になった点	会場意見 ③改善策	会場意見 ④踊り連としてできること
①イオン～ハレノワ移動バスの存在は助かります。	②日曜日のハレノワがうらじゃバスが有っても少し大変。 一般客が多数いた。動画配信していた一般参加者がいた。	②周辺（例えば小規模で天満屋前とか）に演舞場があれば踊り連としてもプラン組みやすいのではないかと ③一般の方が利用する施設内での利用はトイレ（要買い物や利用）や買	②取捨選択する。③④連内への説明を徹底する。

		い物以外での利用は控えたい。要項 においても「トイレでの化粧直し」 は控えるべきと記載されています が・・・もう少し強めに記載・説明 してもいいと思う。 ④うらじゃ連はある程度、認識して いると思いますが新規参加者向 けに代表者会議や資料にも強調して 案内して欲しい。開始前アナウンス (女性)だと聞こえ難いので地方車 乗ったMCさんより案内して欲し い。(気持ちが高揚している時間故	
--	--	--	--

		か) 警備スタッフ様はなかなか動き 難しいみたいです。	
・どの会場でも水をまいてくださったり、ミスト車を出してくださったりと、熱中症対策をしてくださっていたところ。 ・中央公園では、多くの裏方さんがハイタッチで迎えてくださったところ。 ・パレード会場では、お客さんとの距離が近く、楽しく踊ることができました。 ・どの会場もメダルも渡されていな			・今後も様々なお祭りに参加し、うらじゃの楽しさを伝えていくこと、うらじゃの歴史を子どもたちへ伝えていくこと。

い子どもからかけてくださり、良かったです。 ・うらじゃバスに踊り連も乗ることができ、休憩しながら移動ができて大変有難かったです。 ・ハレノワ会場で、1チーム1人の担当の方をつけてくださったので、迷うことなく移動がスムーズにできました。写真撮影もして下さり、有難かったです。			
ハレノワは舞台上で踊れる幸せを感じる			

・審査一般票の導入（多数の連が求めるところかなと） ・アテンド(神対応) ・裏方の皆さんのテンション(受付の方の笑顔と対応) ・去年と侵入経路が違うこと(今年の方がスムーズ)	待機所の増設(テント)		裏方の方々へ何かできればなと(※全体的に)
パレード会場での手を浸せる冷水が良かった。	・ハレマチパレードは○秒前 の札を上げるだけで、声で伝えて貰えなかったため、踊り子も分かりづらかったが地方車上の煽りにも伝わらず、煽りの進行が先走ってしまった。	・声も出して秒数を教えて欲しい ・インターバルが1分なのか2分なのか明確にして欲しい ・酒を飲んでいたら不明だが、何かあったとき対応出来ないため裏方？実行委員会？が酒を飲むのはど	気になった点を発信していく。自分たちの行動もより一層気をつける。

	・下田町公園ナイト演舞の際、ステージ横に机を置いて座っていた裏方Tシャツを来た3人組男性のうちの一人が恐らく酒に酔っているのか大声でしゃべり散らし、その後 四季さんの演舞の際に「うるせー四季！！！」と大声で言っていた。最悪。	うなのか？と昨年の報告会でも意見が上がっていたが、本当にその通り。ましてや上記のような暴言を吐くのは有り得ない。自分が今どのような立場に居るのか考えて行動して欲しい。踊り連が気分を害すだけでなく、まわりのひと全員・うらじゃ全体が悪い印象になる。	
ハレノワ:アテンドが付いてくれて移動がスムーズだった	各会場の進行状況が分からなかった うらじゃバスの運行状況が分からなかった	各会場の進行状況を見えるようにする(アプリやサイトからリアルタイムで確認出来るなど) うらじゃバスの運行状況(遅れなど)を見えるようにする	見えるようになれば、それに合わせた待機や、前口上での時間調整など、祭りのスムーズな運営に協力しやすくなる

	①総おどりの時に手に物を持って いる人が多かった。 ②温羅化粧ブースに踊り子がいて いたこと	①アナウンス、踊り連からの声かけ ②代表がきちんと説明・ボランティ アの人にも踊り子はできないことを 周知。	①総おどりに入る前の声掛け・気 がついた時に注意 ②連の全員に伝える、子どもたち には、保護者の方にもしっかりと伝 える。
	・スタンプラリーの企画は良かった が、シール購入権ではなく何か景品 がもらえるほうが嬉しいのではない かと思った。 ・うちの連のタペストリーが上の棒 に引っかかって見えない状態になっ ていたが、係の人に直すのは難しい		

	と言われた。何か対策をしてもらえ ると嬉しいです。		
各演舞場、裏方さんの無駄のないオペレーション	時間が押している会場があり、次の演舞場に間に合いそうになく連絡したかったが電話番号など連絡先がわからなかった。	演舞場ごとに代表番号があればうれしいです	
ハレノワ：誘導係がいて入退場がとても分かりやすスムーズだった	同時時間に別会場で同じチームが演舞していたのでのぼりを作成してもって移動する意味があるのか？急なキャンセルなのか？さん太の前のチームが市パレを踊っていた。変更しないでそのままだとその枠を他のチー	みんな平等に演舞できるように事前エントリー制になったと認識しています。のぼりルールを適用して欲しいです。各演舞場にのぼり必須！！	思いやりの気持ちでエントリーも移動を考えてのエントリーにする

	ムが踊れたのではないか？と思っ た。		
ハレノワ会場…スムーズな案内で大 変わかりやすく、とても良かった。	表町タペストリー(見に行ったが、 なかった)	掲載忘れがあり、そばらや矢部様に 対応していただきました。	毎年、スタッフの皆さまには感謝し かありません。今後も、連としてた くさんの方に、うらじゃを知ってい ただけるよう、活動を続けて参りま す。
ハレノワの動線がスムーズで分かり やすかった。			
各演舞場に手を冷やす場所があった のはよかった	楽曲の事前登録はいいが、踊り連の 都合では持参している USB 予備音 源の使用は認められないと言われ	1 案 予備音源の使用についてもう 少し柔軟に対応していただきたい。 2 案 以前の USB 提出方式に戻す。	

	た。（生歌での演舞のためボーカル抜きで音源登録をしていた。）		
乱舞華風さん、旭さん、天満屋さんなど、拍手でたくさん盛り上げてくださりありがとうございました。			他の踊り連さんの演舞を拝見する際は敬意をもって楽しみ、盛り上げていきたいと思います。
	◆毎年各演舞場、マイクがワイヤーだったりワイヤレスだったり変わりますが、可能であればワイヤレスで統一もしくはワイヤレス選択可にしていただけると助かります。イオンハレマチが「ワイヤーのみ」に変更されていました。ワイヤーだと他の人が転倒する危険性があり、事前	◆暑いので開催時期を変更してほしい。 ◆参加年齢 夏の暑い時期はアスファルトの温度が地面の低いほど温度は高くなります。特に背の低い子供は大人よりも常に高温な状態で危険です。開催日変更しないのであれば中学生から参加認めたりしたほうが	

	にワイヤーをさばきながら踊る練習 も必要となる為、今年はやむを得ず 端っこでやったので思っていた演舞 や巻き込みができませんでした。ワ イヤレス希望するのはウチくらいで しょうけど。すいません ◆月曜 19 時のエントリー開始は厳 しい人も少なくないのでは？月曜 19 時は仕事が忙しい人もいるし、 帰宅時間、家族との食事時間、食事 準備時間など慌ただしい時間帯と思 われます。結果、遅れたり忘れたり しやすくもなりやすいのでは？	安全だと思います。 ◆学生チームのみの企画 高知よさ こい祭りでは学生チームのみ参加で きる土佐学生よさこい大会をしてい ます。うらじゃも学生チーム数チー ムありますがあまり交流等が少ない のでうらじゃ本祭内で社会人チーム を排除した何か学生同士で繋がりや 交流する機会を設けたほうがいいで す。	
--	--	--	--

◆早い者勝ちだと演舞エントリーが多
い少ないが発生してしまうので、

「第一回目で一定数のエントリーを
均等に確保し、第二回目にもっと演
舞したいチームは追加エントリーす
る」のような仕組みにするとよいの
では？（代表追記＝演舞回数が少な
くても曲作り振付づくり練習には例
年と変わらず多大な労力と時間とお金
が準備に費やされます。2 回しか演
舞できなかったのはさすがに泣けま
した。この立場になると、10 回以
上でも 2 回しか踊らせてもらえなく

ても参加費が同じなのもさすがに疑

問に思いました。

◆うらじゃフォトコンテスト よさ

こいやうらじゃの写真は踊り子がア

ップで写っているものが多いです。

アップで写っていると本当にその祭

りで撮ったのか証明できない。実行

委員としてもいい会場なのに会場が

全く写っていなければ士気が下がる

のでは？地域住民、実行委員会、チ

ームがきちんとこの場所で踊ってい

ることを証明できる写真(踊り子と

一緒に祭りのロゴや街のランドマー

ク)を選ぶのが望ましいです。

◆迷惑者、不審者対応 祭りは不特定多数なので実行委員、各チームとして対応していく必要があります。

うらじゃ代表者会議資料に迷惑者、不審者対応マニュアル載せることも大事では？基本各チーム代表者を通すのが筋ですが自由行動や大人数のチームは何か迷惑な行動された時にすぐ代表者を通すのは困難なので代表者会議資料や各チーム・踊り子さんでそのようなことをされた場合はすぐ会場スタッフに連絡をするなど

対策をする必要があります。言いにくいことですが何かあった時助けが必要な時はすぐ会場スタッフに安心して伝えてと実行委員からメッセージを発信してください。

◆温羅化粧 うらじゃメロディ入っていないなくても受賞対象外にはなりますが桃太郎祭りには参加できます。しかし温羅化粧はしないと参加出来ません。参加条件に片方が参加できて片方が参加できないのは良くないと思う。うらじゃメロディ入っていないチームは参加できないようにする

	か、または温羅化粧していなくても 参加できるようにしてください。		
各給水所でお水を補給していただいているスタッフさんには毎年感謝です	市役所パレードは隣の音が大きくて自分たちの音が聞こえないときがあった いつからコンビニに衣装のまま入って良くなったのでしょうか 今年はチクることはしませんが、周知が足りないようでしたら来年からは撮影して事務局に届け出る予定です 解禁されたのでしたらそのこともきちんと教えてほしいです	こちらの音が小さいとお伝えしましたが それだけではなく隣を走る音が大きいことが原因だと今回知ったので、音の始まるタイミングがわかるようになると良い。出だしを大きくしていただく等	マナーを守って踊る

全会場：演舞場曲出しタイミング票の作成によって円滑な受付ができた点。	特にありません。	総踊り警備：人員をもっと増やし、どのような方法で行っていくのかについて早めに詳細をつめて教えていただけると、観客の方々やスタッフさんが主役となった楽しい総踊りになっていくと考えています！旭が手伝えることはするので、お声掛けください！	挨拶や感謝を伝えることはもちろん、うらじゃの魅力発信や地元岡山への恩返しを引き続き行っていきます！
イオンハレマチ演舞場：通常と特に変わらなかった	特にない	特にない	踊りを楽しむこと。係員の指示にしたがい、会場ルールを守ること。
下田町公園演舞場 去年は、水浸しで水たまりのある中今年はなくのびのびと踊れた	特になし	特になし	ルールを守る。分からなければ確認する。

次年度参加予定	
選択肢	件数
選択肢 参加予定	17
選択肢 未定	2
選択肢 不参加	0

コメント
エントリーの時のやり方エントリー時間前に、 I D を入れログインしていても良いのか教えて欲しい
来年も色んな踊り連さんとの出会いを楽しみにしています。
さらに岡山を盛り上げれる連へとレベルアップします！ 次年度もどうぞよろしくお願いいたします！（参加予定）

質問 6. 事務局からの情報発信について気になった点があればご記入ください。

Q6 事務局への意見	Q6 理由
------------	-------

本業の合間にご尽力いただきありがとうございました。できれば「受付した」「（追加）入金確認した」等の連絡をいただけると助かります。	以前、代表者会議で「（過去に）市パレ撮影希望」が通じてないとか問題提起された件もあるので、以前に問題なった分野等については注意いただけると助かります。
連絡の時間	勤務中での電話対応が難しい時間帯があった
連絡が来た・来てない で話が上がる事が例年より多かったような気がする。	
連絡が無かったり、一部の連に連絡が届かなかったりしていた。メールなのか LINE なのかどちらかに絞ることは出来ないか。	後で内容確認したい場合にどちらで連絡があったか分からず探すのに苦労したから
	インスタが開設されて情報を流すことが多かったのはとっても良かったです！
うらじゃ実施一カ月前に熊本地震があったにも関わらず配慮がなかった。 （発生 2 日後公式 LINE からハイタッチのお知らせが来てびっくりしました）	イオン連はイオンモール熊本の爆発事故の影響で実際辞退も考えた。他の連の参加者にも熊本に知り合いがいるかもわからないのにそういった配慮

	が全くなかった。参加する人は岡山出身だけではない事をわかって欲しい。
説明会の案内	いつもより遅かったかと思います。
第一回目の代表者説明会の告知	例年より日程の発表がやや遅く感じ、スケジュール調整の都合から問い合わせをさせていただきました。メールでのご対応ありがとうございました。1～2週間前の告知になると代表、副代表共に都合が合わない場合があるため、3月下旬～4月上旬には日程のお知らせをいただけると大変ありがたいです。別件となりますが、演舞枠の交換についての注意喚起をありがとうございました。演舞枠確定後に納得のいかない問い合わせをいただき断っていた経緯がある為、全体で注意をいただけたことがありがたかったからです。

第一回のごみ拾いの案内が届きませんでした。その他にも届いていない情報があったのかもしれませんが、すべて届いているかどうかは現状の仕組みではわかりません。	全てメールか LINE で発信されるのかと思っていたが、ホームページのみで発信されているものもありました。どういう内容がどの手段で発信されるかが明確でなく、観にいかないと気付かないホームページでたまたま発信されてもだんだん確認しに行かなくなってしまうので気づかない人も少なくないのでは？「●●で発信しましたのでご確認ください」の一文でも送っていただけると、見落としや「届いてません」を減らせると思います…お手間は増えますが。
メールだけではなく SNS か HP の更新をしてほしい	マネージャーが転送するのが手間 全員がなるべく早く情報を捕れるようにしてほしい
連絡が遅い。	第 1 回代表者会議の出欠メールが遅かった。

質問 7. 審査について、ご回答ください。

Q7-1 賞の目標（回答番号集計）	
選択肢	件数

Q7-2 審査対象（回答番号集計）	
選択肢	件数

① 誉・匠を目指す	2
② 演舞場賞などを目指す	11
③ 賞は目指していない	10

① 全連対象の現在方式が良い	15
② カテゴリー別に分ける	8
③ エントリー方式にする	1

Q7-3 審査実施方法（回答番号集計）	
選択肢	件数
① 祭り全体で審査する	15
② 審査会場を決めて行う	6
③ 会場や時間を絞って行う	2

コメント
・特に省は目指していないが、もし貰えたら嬉しい ・毎年同じ連が貰っているので、連続受賞はなしにしてはどうか、また、同じ連が色々な賞を何個も受賞するのはおかしい、もっと色々な連にあげて欲しい ・祭り全体、演舞場ごとの受賞は良いが、子供の連、職場の連、色々な人の連などと分けてあげるのも良いと思う ・企業連賞を作って欲しい

第31回うらじゃ改善シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
	総務	当日		看護師の配置について	下田町公園にて看護師派遣前に熱中症で倒れ、下石井公園から緊急で派遣しました。	開始前から観客がいることを考えると早目の配置が対応しやすいと思います。岡山市が難色を示すも実際に今回発生しています。それを理由に早めの配置をすべきです。
	総務	当日		下田町公園において、演舞開始前に発生した熱中症患者に対し、現場で十分な初期対応ができなかった。	看護師の配置開始時間が遅く、演舞開始前の時間帯に救護体制が整っていなかった。一方で、来場者や関係者は演舞開始前から会場内に滞在しており、暑さによる熱中症患者が発生する可能性があった。	次年度は、演舞開始時刻を基準にするのではなく、来場者・スタッフが会場に集まり始める時間から救護体制を整える。特に下田町公園については、開場・集合時間に合わせて看護師を早めに配置し、演舞開始前から熱中症患者へ対応できる体制を構築する。
	総務	当日		下石井公園において、演舞中に使用されたシャボン玉により路面が滑りやすくなり、転倒事故が発生した。さらに、事故防止のため急ぎよ清掃作業が必要となり、その影響で演舞スケジュールに遅れが生じた。	演舞時に使用する演出物について、安全面の確認や使用ルールが十分に定められておらず、シャボン玉が路面に与える影響や、その後の清掃対応まで想定できていなかった。	次年度は、演舞で使用する演出物について事前申請と安全確認を徹底し、シャボン玉など路面を滑りやすくする可能性がある演出物は原則禁止または制限する。あわせて、各連への事前周知を徹底し、事故や清掃によるスケジュール遅延を防止する。
	総務	当日		おもいやりゾーンにて腕章を付けずに撮影をする報道関係者が多々いた。本祭前、本祭中に報道関係者からの取材等の急な依頼が多々あった。	報道関係者に左記についての周知徹底がなされていないため。	当日取材及び事前取材をする報道関係者は第二回報道関係者説明会に必須参加とする。その上で腕章がないと総おどり撮影ができない旨を周知徹底する。
	総務	当日		市役所筋本部に移動後、総おどりにて各連の演舞場所を聞かれるが、紙のマニュアルをめぐりながらの説明がスムーズでないと感じた。	紙のマニュアルのみを用意していたため。	総おどりでの各連の演舞場所のマップと説明書をラミネートし、本部テントの目立つ場所に設置し、各連が自由に見れるようにする。

第31回うらじゃ改善シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
	パレード	市役所筋		巡回誘導の指示に従い待機連を移動させる運用がボランティアによって違ってしまった。	ボランティアの動き方がまちまちになった。	マニュアルに具体的な動き方を示し、事前確認でボランティア同士の動き方を共有する。
	パレード	パレード全般		TMにはTM1、TM2、TM3とそれぞれの役割があるが、ちゃんと配置出来ていなかったり、役割外のことをしている連もあった。	踊り連がTMの役割をちゃんと認識できていない。また、踊り連説明会で伝えられていない。	踊り連説明会で伝わるように現在の資料をより分かりやすいものに変更する。
	パレード	パレード全般		撮影ルールが周知されておらず、TM2がスマホを持っている連もあった。	撮影ルールがちゃんと認識できていない。	撮影について、許可申請を提出してもらうのであれば、他の撮影条件はわかりやすくしたかどうか。 例)TM1は手に持たない撮影ならOK、地方車の上からの撮影はスマホはダメなど)
	パレード	ハレマチ市役所筋		撮影許可者でないと思われる連スタッフによる撮影が行われている気配。	撮影ルールが連に理解されていない。	スマホでも簡単に撮影ができるようになっている昨今、撮影自体にさほど危険を感じないのも事実。ルールの緩和について検討すると同時に、わかりやすい運用例を踊り連説明会で伝えられるようにする。(表町は観客との距離感や規制線がないことを考えると難しい)
	パレード	表町 ハレマチ市役所筋		曲だしタイミングをPAに提出してくる連があり、タイムキーパーの指示だと連動せず曲だしタイミングで地方車が動き出すケースがあった(表町)。	曲だしタイミングシートの位置づけが不徹底。	曲だしタイミングシートは演舞会場のみであることを踊り連代表者会議できちんと説明を行う。また会場担当者(受付・タイムキーパー・地方車)への認識共有する。
	パレード	市役所筋受付		大旗、撮影に関して、事前申請しているのにマニュアルに記載がない連があった。	最終の踊り連情報でマニュアルが作成できていなかった。あおりやリーダーにスタート=音出しという認識が伝わっていなかった、	エントリー後の修正可能期間を考慮してマニュアルを作成する必要がある。

第31回うらじゃ 演舞・踊り連に関する改善点 抜粋まとめ

※各部会の反省・改善シートより、演舞(踊りの演技・審査)や踊り連に関わる項目のみを抜粋(各シートにつき5個程度、該当が少ない部会は少数)

No.	出典部会	タグ(部会)	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
6	審査	審査		吉村忠道	演舞場の踊れる人数に対して、無視をして踊る連がいた。(40名上限を100名で踊る。)また、市役所筋パレードにおいてもスタッフが撮影ビズを着用せずに撮影していた。また、しゃぼん玉発生器を勝手に使用。下石井公園の運営を5分間遅らせた。	実行委員会で決めたルールをあまりに勝手な解釈をしています。これは今後も大きな問題となり得る可能性もあります。	第1回もしくは第2回で厳しく注意喚起を行うべきと考えます。受付を対応する当日ボランティアスタッフでは拒否も出来ませんから。
7	広報部会	広報		柚木	サンタ広場(日曜)の参加人数の条件が誤って設定されたまま受付期間を通して公開され、9名以下の踊り連が登録できなかった。発覚は締切の11日後で、全踊り連へのお詫びと個別の登録対応が必要になった。	要項の人数から変更があることは認識されていたが、具体的な数値がシステムに反映されなかった。受付開始前に会場ごとの条件を突き合わせる確認も行っていなかった。	エントリー受付の開始前に、会場ごとの参加条件(人数・日程・枠数)を要項と管理画面で突き合わせる確認を行う。担当部会が自分の会場の設定を確認する形にし、確認の期間を受付開始前に確保する。
13	温羅化粧部会	温羅化粧	イオン(両方)	岡野大塚	事前にイオンから旗の持ち込み不可との連絡があったが、演舞が旗を持ち込んでいた。可能なら化粧も持ち込みたかった。	イオンとの連絡調整が不十分で誤解があったのではないかな。	来年のイオンとの協議で詰めていく。また、イオンとの協議を演舞部会に任せきりにせず、化粧部会も主導的に行うべき。
14	温羅化粧部会	総おどり	なし	柴田	地方車の上から問題を見つけても、よほど大きな声を出さない限りは地方の下の方の警備の人に伝えられず、実質的な対応ができない	地方車から警備への連絡手段の欠如	地方車の上の情報を下の警備の人に伝えるメッセージ要員を地方車に配置するなどした方がよい。トランシーバーは使いにくい。

2026年度 演舞部会 演舞場反省・改善事項（参加者共有用）

会場名	問題点	問題点の発生理由	問題点の改善策
全体に関すること	参加要件・禁止事項（人数上限、大道具・旗、危険を伴う演舞、マイクの扱い等）が当日まで十分に理解されていない。	参加要項や説明会での案内が、具体性または確認機会の面で十分でなく、会場ごとの認識差も生じていた。	参加要項の表現を明確化し、代表者説明会・受付で再確認する。運営に支障または危険がある場合の中断・審査上の取扱いも事前に明示する。
全体に関すること	受付時の登録人数と当日の参加人数が一致しない事例があった。	追加登録後の情報と当日の申告に差があり、連側の確認も十分でない場合があった。	追加登録締切後の最新データを使用し、代表者が当日の参加人数を事前確認のうえ受付で申告する。
全体に関すること	受付時刻や受付票、曲出しタイミング票など、受付に必要な準備が揃わない事例があった。	「開始何分前」の意味や、各演舞・企画で必要な提出物が十分に共有されていなかった。	受付開始時刻・説明開始時刻・必要書類を明記し、代表者以外でも連番号や必要情報を確認できる体制を各連に依頼する。
全体に関すること	緊急時に踊り連へ連絡がつかない、または連絡先が誤っている事例があった。	登録された連絡先が演舞中の踊り子本人であったり、電話番号の記入誤りがあった。	演舞中も連絡可能な担当者の連絡先を登録し、提出前に番号を確認するよう依頼する。
全体に関すること	踊り連関係者や荷物が通路・待機場所周辺に滞留し、通行や観覧の妨げになる場面があった。	関係者の待機場所、荷物搬入経路、立ち見禁止範囲が十分に伝わっていなかった。	代表者説明会と受付で待機場所・搬入経路・立ち止まり禁止範囲を案内し、会場内表示を追加する。
全体に関すること	暑さ、直射日光、給水・氷・紙コップ等の不足または配置上の課題があった。	日照条件、参加人数、踊り子以外の利用、おかわり等を含む必要量の想定が十分でなかった。	会場ごとの日照と利用実績を基に必要な量を見直し、テント・パラソル・冷却機器等を適切に配置する。
全体に関すること	案内表示が不足し、化粧ブース、投票場所、観覧席、通行可否等の問い合わせが多かった。	掲示場所や案内板が少なく、会場内の目的地を来場者が把握しにくかった。	会場マップ、誘導表示、ホワイトボード等を見やすい位置に設置し、MC案内も併用する。
全体に関すること	審査・選考位置が見えにくい、記入対象がずれる、第三者から指示や覗き込みを受ける事例があった。	審査位置、記入手順、交代時の確認、周囲との区画が十分でなかった。	事前に視認性を確認し、記入対象との一致を都度確認する。審査エリアを区画し、第三者の指示には従わないことを周知する。
イオン	観客席上階からペットボトルが落下し、踊り連待機場に落ちた。	手すりの外側にペットボトルを出して観覧していた可能性がある。	MCによる注意喚起を複数回行い、落下物に関する案内を分かりやすく掲示する。
イオン	うらじゃコレクション投票案内と温羅化粧案内が演舞会場から離れており、案内対応が発生した。	演舞会場付近に掲示物を設置できる場所が不足していた。	演舞後方のホワイトボード設置場所に掲示スペースを追加し、投票・化粧情報をまとめて案内する。
杜の街	ベストオブ煽り賞を知った上で会場を選ぶ踊り連が少なかった。	独自賞の企画内容の周知が遅かった。	演舞場応募時点で賞の趣旨・内容を案内する。
杜の街	車椅子・ベビーカー利用者向けの観覧スペースがなかった。	一般席とは別に見やすい空間を確保していなかった。	会場レイアウトに車椅子・ベビーカー用の観覧スペースを設ける。
杜の街	正面側通路が混雑し、誘導者も通りにくい場面があった。	規模の大きい踊り連の出演時に、観客・関係者が正面側へ集中した。	正面側の通路幅を見直し、混雑前から立ち止まらないよう案内する。
杜の街	演舞場後方通路が通行可能か尋ねられることがあった。	店舗前のパーテーションや関係者の通行により、一般通行の可否が分かりにくかった。	通行可能であることを示す案内表示を設置する。
さん太	踊り連が無断で演舞をキャンセルした。	演舞時刻になっても来場せず、会場への連絡もなかった。	代表者説明会で、キャンセル・遅刻時は最寄り会場へ申し出て所定の連絡経路で共有するよう周知する。
さん太	会場ごとの進行状況が分からず、他会場の遅れを理由に遅刻の申出があった。	会場間で進行の遅れ・前倒しを共有する仕組みが十分でなかった。	会場の進行状況を所定の連絡手段で共有し、踊り連にも早めの連絡を依頼する。
さん太	曲出しタイミング票を必要数以上に印刷・保管していた。	全踊り連が持参しない前提で、出演連数分を準備していた。	予備は10枚程度を目安にし、持参を事前周知する。
下石井	演舞中にシャボン玉が使用され、床面確認のため進行が遅れた。	危険を伴う可能性のある演出が事前確認なく行われた。	危険または運営に支障がある演出は禁止事項として明示し、発生時は演舞中断・審査上の取扱いを適用する。
下石井	挨拶者の案内と立ち位置の準備が遅れた。	案内方法と立ち位置が事前に決まっていなかった。	案内手順と担当を事前に決め、前日に立ち位置の目印を設置する。
下石井	うらじゃコレクションの撮影場所を観客が横切ることがあった。	撮影者専用の区画が設定されていなかった。	三角コーン・コーンバーで撮影区画を設け、撮影者は区画内から撮影する。
下石井	うらじゃコレクションの進行が途中で遅れた。	企画の時間配分と具体的な動きをMCへ十分に伝えられていなかった。	事前にMCと進行台本・時間配分・動線を確認する。
下石井	うらじゃコレクション投票ブースの投票率が低かった。	イオンの投票場所が演舞場から離れていた。	次回の設置有無と場所を再検討し、設置する場合は演舞場付近で案内を強化する。
下石井	大道具の組立場所が不足する場面があった。	大型連や大道具の多い連が続き、待機場所が混雑した。	大道具の使用予定を事前把握し、組立順序・場所を調整して事故や破損を防ぐ。
中央町	新設した観客席が来場者に浸透するまで時間がかかった。	MC案内だけでは観客席の位置が分かりにくかった。	観客席を示すラミネート表示等を設置し、MC案内と併用する。

会場名	問題点	問題点の発生理由	問題点の改善策
中央町	夜間演舞のライト演出をさらに活用できる余地があった。	協賛看板や会場背景を含めた照明演出の検討が十分でなかった。	協賛看板のライトアップなど、会場条件と予算を踏まえた照明演出を検討する。
中央町	彩鬼の表彰場面をさらに盛り上げられる余地があった。	選考・贈呈が担当者個人の対応に寄り、演出面の共通設計がなかった。	選考の公平性を保ちつつ、贈呈時の紹介・照明・進行等の演出を検討する。
中央町	マネージャー撮影席が好評だったが、事前周知が十分ではなかった。	撮影席の設置情報が踊り連へ広く伝わっていなかった。	次年度も継続を検討し、参加案内や代表者説明会で周知する。
ハレノワ	踊り子が劇場の横幕に触れ、劇場側から注意を受けた。	事前注意は行われたが、立入禁止範囲が視覚的に分かりにくかった。	横幕・スピーカー周辺をマスキングテープ等で区画し、触れないよう受付時にも案内する。
ハレノワ	劇場事務局へ落とし物が多数届けられた。	演舞部会の取扱いルールが他部会を含む全関係者へ統一周知されていなかった。	施設と合意した落とし物の取扱いを全関係者へ事前周知し、来場者向け案内も統一する。
ハレノワ	午後の千日前スクエアが直射日光で休憩場所として使いにくかった。	午後に強い西日が当たる場所だった。	テント等を設置し、日陰を確保する。
ハレノワ	踊り連の入退場切替が揃わず、進行が見えにくかった。	入退場ルールとオープニング映像の開始タイミングが連ごとに異なった。	踊り連名を表示する短い切替映像を準備し、入退場と映像開始の手順を統一する。
ハレノワ	演舞場賞投票ブースで、踊り連名だけでは分かりにくく、シールも貼りにくいとの意見があった。	初年度の試行で手作り運用を行い、用紙サイズに制約があった。	写真・紹介文を掲載できるパネルと、貼りやすい投票シールの採用を検討する。
ハレノワ	化粧ブースの場所を尋ねる来場者が多かった。	化粧・グッズの場所がホワイエへ変更され、下階から場所が分かりにくかった。	下階から確認できる案内看板やパーテーション表示を設置する。
ハレノワ	大道具使用の事前記載漏れがあり、当日の対応に支障が出た。	大道具使用有無を当日書類で確認する欄がなかった。	曲出しタイミング票に大道具使用の有無を記載する欄を追加する。



うらじゃ振興会

会員募集中

一年を通してうらじゃを盛り上げ、楽しみましょう！

うらじゃ振興会とは

岡山を代表する夏の風物詩「うらじゃ」は、踊り手、観客、そして地域の皆様の温かいご支援に支えられ、今では岡山の夏の定番行事として、多くの方に親しまれています。私たちはうらじゃの振興を軸に、うらじゃ本祭への協力に加え、郷土文化の活性化に取り組み、「うらじゃ」が岡山になくてはならない祭りであり続けることを目指して活動しています。

うらじゃ実行委員会との違い

うらじゃ振興会とは別団体であり、それぞれの目的が違います。

うらじゃ実行委員会とは、うらじゃ本祭（おかやま桃太郎まつり）の2日間を実施するための団体です。毎年、結成され本祭終了後に解散する形をとり、主に（公社）岡山青年会議所のメンバーで構成されます。

うらじゃ振興会は、この祭りの成功を願い、裏方スタッフや踊り連の有志が集まり、うらじゃ実行委員会が活動できない期間（オフシーズン）の演舞依頼や問い合わせへの対応を目的に2000年4月に設立されました。

近年の活動内容

■うらじゃ本祭会場周辺の一斉清掃 ■うらじゃ勉強会の開催 ■他団体よりの演舞依頼の受付、斡旋 ■地域イベントへの参加 ■振り付け動画の制作 ■うらじゃ楽曲、ロゴ、映像などの知的財産の管理、保全 ■踊り連交流会の開催 ■新規立ち上げ踊り連サポート（「インクルーシブ踊り連 一期一会〜「輪舞温羅（りんぶうら）」」など） ■出前うらじゃの実施 ■うらじゃ実行委員会との交流、意見交換、提言 ■本祭のサポート（「当日参加連 うら魂」「城内ナイト」「温羅火（おにび）行列」などの実施） ■市外の祭り関係者との交流 ■うらじゃデザインの自動販売機の普及活動 など

活動内容・入会案内

定例会：月1回（懇親会もあり）

※懇親会費は都度、徴収となります。

※懇親会や関連事業の参加は任意です。

開催日時：月末の木曜日（現在）20時～

開催場所：うらじゃ事務局

【会員の種類】

①運営会員	年会費 ¥3,000円
②運営会員（学生）	年会費 ¥2,000円
③支援会員	年会費 ¥1,000円
④法人・団体会員	年会費 ¥5,000円



会費お支払い手続きについて



【会費ペイでの会員登録と決済手続き】

以下のURLより「会費ペイ」の登録ページにアクセスし、お手続きをお願いいたします。

「会費ペイ」での決済手続きが完了した時点で、入会手続きも自動的に完了となります。

お支払い方法: クレジットカード または、コンビニ払い

（登録ページのURL）<https://ka-hi-pay.com/uraja-shinkokai/join>

詳細、お申し込みはホームページまたはメールから

■うらじゃ振興会：〒700-0822 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル4F

E-Mail: info@uraja.jp

うらじゃ振興会

検索



ご不明点がございましたら、お気軽にうらじゃ振興会事務局までお問い合わせください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。今後とも、うらじゃへのご支援をよろしくお願い申し上げます。